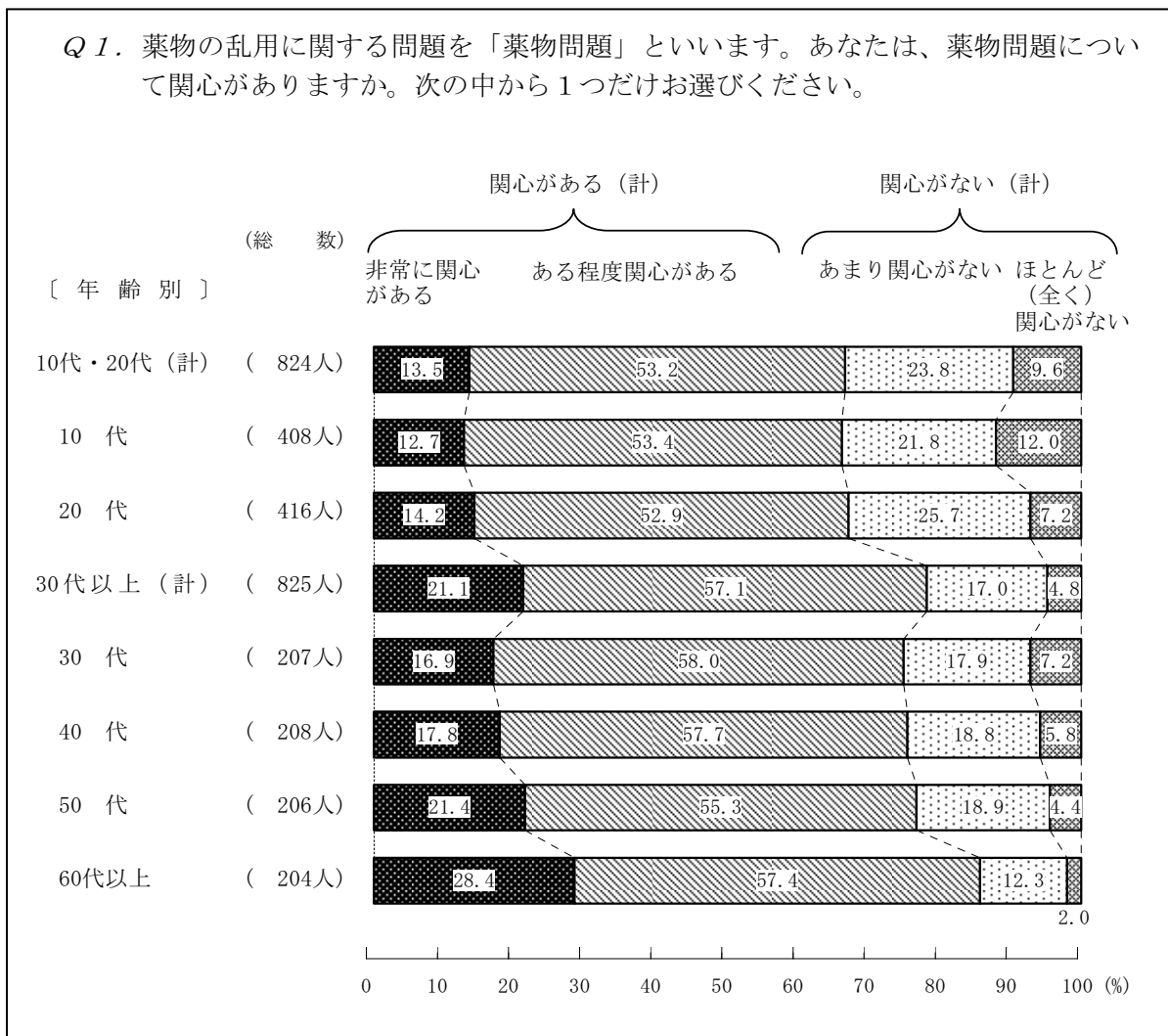


第2節 調査結果の概要

1. 薬物問題への関心

(1) 薬物問題に対する関心の有無



薬物問題について関心があるか聞いたところ、「関心がある (計)」（「非常に関心がある」＋「ある程度関心がある」）とする者の割合は10代 (66.2%)、20代 (67.1%) では6割台、30代以上 (計) (78.2%) では8割近くとなっている。「関心がない (計)」（「あまり関心がない」＋「ほとんど(全く)関心がない」）とする者の割合は10代 (33.8%)、20代 (32.9%) は3割台、30代以上 (計) (21.8%) は2割台となっている。

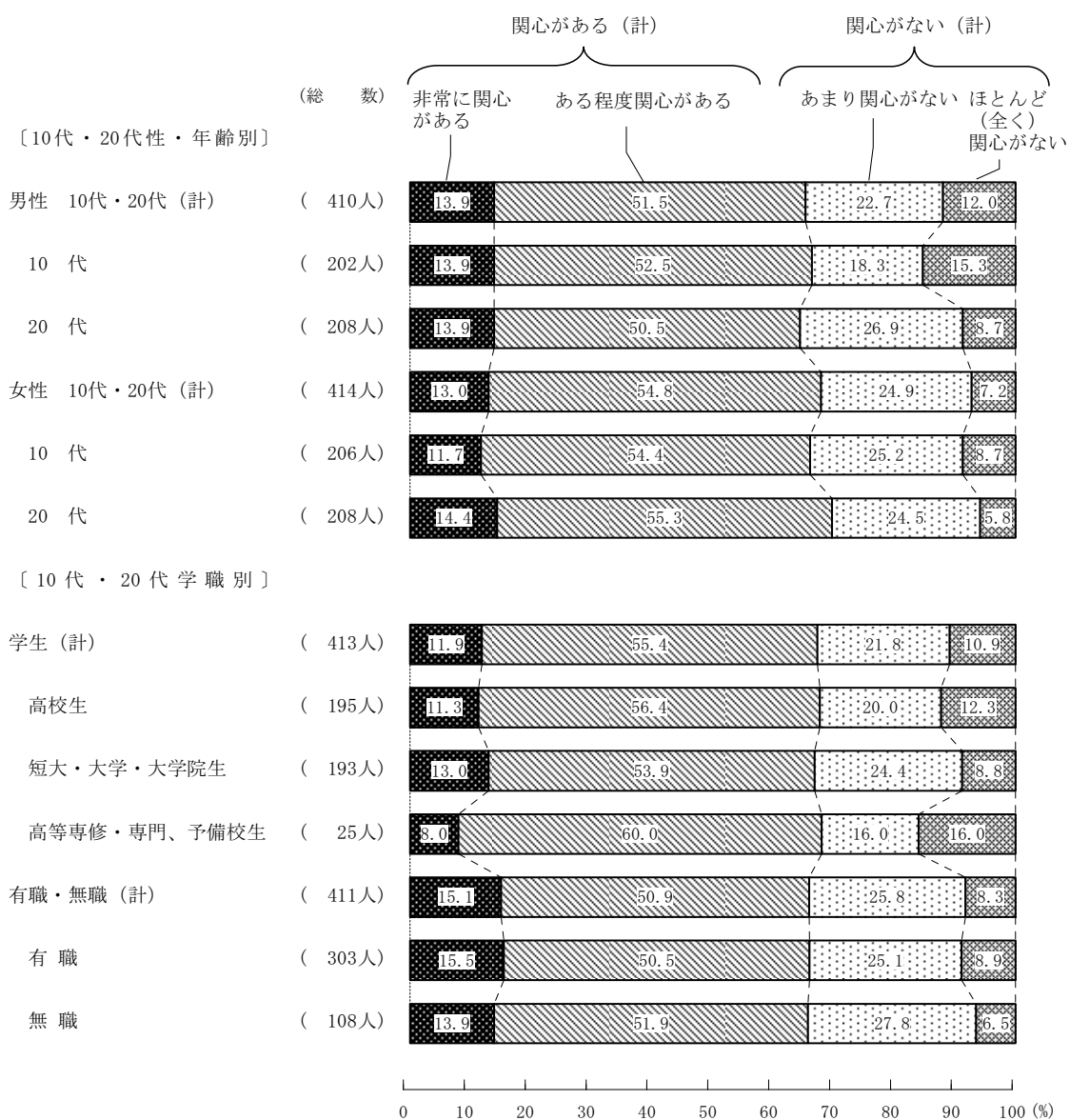
注) 単純集計結果についてのコメントは、原則として、10代、20代、30代以上 (計) で行っている。
(以下、同様)

10代・20代性・年齢別にみると、「関心がない（計）」とする者の割合は20代では女性（30.3%）より男性（35.6%）が高くなっている。

10代・20代学職別にみると、「関心がない（計）」とする者の割合は高校生（32.3%）、短大・大学・大学院生（33.2%）、有職（34.0%）、無職（34.3%）ともに3割台であるが、有職、無職でやや割合が高くなっている。

注）10代・20代学職別の比較は、原則として、高校生、短大・大学・大学院生、有職、無職について行っている。（以下、同様）

図表 2-2-1-1 薬物問題に対する関心の有無



(参考) 平成 18 年調査「薬物乱用対策に関する世論調査」

(%)

	該当者数	関心がある (小計)	ア) 非常に関心がある	イ) ある程度関心がある	関心がない (小計)	ウ) あまり関心がない	エ) ほとんど (全く) 関心がない	わからない
[年齢]								
15～19歳	124	54.8	5.6	49.2	43.5	26.6	16.9	1.6
20歳以上 (小計)	2499	61.2	15.9	45.3	37.0	24.2	12.8	1.8
20～29歳	254	58.7	9.4	49.2	41.3	30.3	11.0	-
30～39歳	383	57.7	8.9	48.8	41.8	33.4	8.4	0.5
40～49歳	406	72.2	18.0	54.2	27.3	20.0	7.4	0.5
50～59歳	496	67.3	16.9	50.4	32.1	23.0	9.1	0.6
60～69歳	531	61.2	19.2	42.0	36.9	23.4	13.6	1.9
70歳以上	429	48.5	18.9	29.6	45.2	18.6	26.6	6.3

(2) 薬物問題に関心がある理由

【Q2は、Q1で1～2をお選びの、関心のある方にお聞きします。】

Q2. あなたが、薬物問題について関心がある理由は何ですか。次の中からいくつでもお選びください。(複数選択可)

(%)

n		薬物の乱用者が増えると不安	マスコミなどで話題になることが多い	青少年の健全育成に悪影響がある	市民生活の安全の基本にかかわる問題	薬物に関して興味を持っている	周辺に薬物を乱用している人がいる	その他	特に理由はない	回答計
[年 齢 別]										
10代・20代 (計)	(549人)	71.2	56.8	51.0	49.5	13.7	5.8	2.7	1.8	252.6
10 代	(270人)	68.9	56.7	47.4	46.3	14.8	6.7	1.9	3.3	245.9
20 代	(279人)	73.5	57.0	54.5	52.7	12.5	5.0	3.6	0.4	259.1
30代以上 (計)	(645人)	78.3	42.6	75.0	67.8	5.4	3.6	2.6	0.3	275.7
30 代	(155人)	77.4	58.1	60.6	61.9	6.5	3.9	5.2	0.6	274.2
40 代	(157人)	75.2	43.3	73.2	58.6	6.4	3.8	1.3	0.6	262.4
50 代	(158人)	73.4	38.0	79.7	76.6	3.8	2.5	1.3	-	275.3
60代以上	(175人)	86.3	32.6	85.1	73.1	5.1	4.0	2.9	-	289.1

薬物問題について「関心がある(計)」とする者に、その理由を聞いたところ、10代、20代、30代以上(計)ともに「薬物の乱用者が増えると不安」(10代68.9%、20代73.5%、30代以上(計)78.3%)を挙げた者の割合が最も高く、30代以上(計)では8割近くを占めている。次いで、10代、20代では「マスコミなどで話題になることが多い」(10代56.7%、20代57.0%)が、30代以上(計)では「青少年の健全育成に悪影響がある」(75.0%)が挙げられた。

10代・20代性・年齢別にみると、「マスコミなどで話題になることが多い」を挙げた者の割合は女性10代（62.5%）で高く、6割以上となっている。

10代・20代学職別にみると、「マスコミなどで話題になることが多い」を挙げた者の割合は短大・大学・大学院生（63.6%）で高く、6割以上となっている。また、「青少年の健全育成に悪影響がある」を挙げた者の割合は無職（67.6%）で高く、7割近くとなっている。

図表 2-2-1-2 薬物問題に関心がある理由

		(%)									
n		薬物の乱用者が増えたと不安	マスコミなどで話題になることが多い	青少年の健全育成に悪影響がある	市民生活の安全の基本にかかわる問題	薬物に関して興味を持っている	周辺に薬物を乱用している人がいる	その他	特に理由はない	回答計	
〔10代・20代性・年齢別〕											
男性	10代・20代（計）	（268人）	69.0	53.4	47.4	53.0	13.4	7.8	2.6	1.9	248.5
	10代	（134人）	65.7	50.7	45.5	50.0	15.7	9.7	1.5	3.7	242.5
	20代	（134人）	72.4	56.0	49.3	56.0	11.2	6.0	3.7	-	254.5
女性	10代・20代（計）	（281人）	73.3	60.1	54.4	46.3	13.9	3.9	2.8	1.8	256.6
	10代	（136人）	72.1	62.5	49.3	42.6	14.0	3.7	2.2	2.9	249.3
	20代	（145人）	74.5	57.9	59.3	49.7	13.8	4.1	3.4	0.7	263.4
〔10代・20代学職別〕											
学 生	（ 計 ）	（278人）	71.2	60.4	51.1	46.4	15.8	5.4	2.2	2.2	254.7
	高校生	（132人）	72.0	59.1	48.5	47.0	14.4	6.8	-	3.8	251.5
	短大・大学・大学院生	（129人）	70.5	63.6	53.5	45.7	17.1	3.1	3.1	0.8	257.4
	高等専修・専門・予備校生	（17人）	70.6	47.1	52.9	47.1	17.6	11.8	11.8	-	258.8
有 職 ・ 無 職	（ 計 ）	（271人）	71.2	53.1	50.9	52.8	11.4	6.3	3.3	1.5	250.6
	有職	（200人）	72.5	51.0	45.0	51.5	11.5	5.0	3.5	1.5	241.5
	無職	（71人）	67.6	59.2	67.6	56.3	11.3	9.9	2.8	1.4	276.1

(参考) 平成 18 年調査「薬物乱用対策に関する世論調査」

(%)

	該当者数	ウ) 青少年の健全育成に悪影響がある	イ) 薬物の乱用が増えると不安	ア) 市民生活の安全の基本にかかわる問題	オ) マスコミなどで話題になることが多い	エ) 周辺に薬物を乱用している人がいる	カ) 薬物に関して興味を持っている	その他	特に理由はない	わからない	計 (M. T.)
[年齢]											
15～19歳	68	57.4	67.6	38.2	29.4	5.9	2.9	-	-	1.5	202.9
20歳以上 (小計)	1530	78.6	73.9	58.4	40.6	8.0	7.6	0.7	0.4	0.1	268.3
20～29歳	149	62.4	69.8	46.3	40.3	10.1	4.0	-	2.7	-	235.6
30～39歳	221	80.1	69.7	57.0	35.7	5.0	5.4	-	-	-	252.9
40～49歳	293	87.0	76.8	62.8	38.9	8.9	8.5	1.4	0.3	-	284.6
50～59歳	334	82.3	74.9	63.8	41.0	9.9	8.1	0.9	-	0.3	281.1
60～69歳	325	77.5	75.7	58.2	44.9	8.0	8.9	0.6	-	-	273.8
70歳以上	208	72.1	73.1	54.3	40.9	5.8	8.2	1.0	0.5	-	255.8

(3) 薬物問題に関心がない理由

【Q3は、Q1で3～4をお選びの、関心がない方にお聞きします。】

Q3. あなたが、薬物問題について関心がない理由は何ですか。次の中からいくつでもお選びください。(複数選択可)

(%)

	n	自分とは関係のない問題	薬物が市民生活に広がっているという恐れが感じられない	薬物の使用は個人の自由	い薬物問題についてよく知らない	薬物乱用が拡大しても市民生活の安全は脅かされない	その他	特に理由はない	回答計
[年 齢 別]									
10代・20代 (計)	(275人)	61.8	21.5	15.3	12.7	4.7	1.8	17.5	135.3
10 代	(138人)	65.2	21.0	17.4	14.5	4.3	2.2	17.4	142.0
20 代	(137人)	58.4	21.9	13.1	10.9	5.1	1.5	17.5	128.5
30代以上 (計)	(180人)	62.2	18.9	7.2	18.9	0.6	2.8	15.6	126.1
30 代	(52人)	59.6	21.2	3.8	13.5	-	3.8	17.3	119.2
40 代	(51人)	68.6	21.6	3.9	21.6	-	2.0	11.8	129.4
50 代	(48人)	70.8	18.8	14.6	20.8	2.1	-	8.3	135.4
60代以上	(29人)	41.4	10.3	6.9	20.7	-	6.9	31.0	117.2

薬物問題について「関心がない(計)」とする者に、その理由を聞いたところ、10代、20代、30代以上(計)ともに「自分とは関係のない問題」(10代65.2%、20代58.4%、30代以上(計)62.2%)を挙げた者の割合が最も高い。また、10代では「薬物の使用は個人の自由」(17.4%)を挙げた者の割合が他の年代に比べてやや高くなっている。

10代・20代性・年齢別にみると、「薬物の使用は個人の自由」を挙げた者の割合は男性10代（25.0%）で高く、4人に1人が挙げている。

図表 2-2-1-3 薬物問題に関心がない理由

(%)

n		自分とは関係のない問題	薬物が市民生活に広がっているという恐れが感じられない	薬物の使用は個人の自由	薬物問題についてよく知らない	薬物乱用が拡大しても市民生活の安全は脅かされない	その他	特に理由はない	回答計	
〔性・年齢別〕										
男性	10代・20代（計）	(142人)	62.7	20.4	16.9	15.5	5.6	0.7	17.6	139.4
	10代	(68人)	69.1	19.1	25.0	16.2	5.9	-	16.2	151.5
	20代	(74人)	56.8	21.6	9.5	14.9	5.4	1.4	18.9	128.4
女性	10代・20代（計）	(133人)	60.9	22.6	13.5	9.8	3.8	3.0	17.3	130.8
	10代	(70人)	61.4	22.9	10.0	12.9	2.9	4.3	18.6	132.9
	20代	(63人)	60.3	22.2	17.5	6.3	4.8	1.6	15.9	128.6
〔10代・20代（計）学職別〕										
学 生	（ 計 ）	(135人)	67.4	21.5	13.3	11.9	5.2	3.0	17.0	139.3
	高校生	(63人)	71.4	20.6	12.7	12.7	6.3	1.6	17.5	142.9
	短大・大学・大学院生	(64人)	65.6	20.3	10.9	10.9	3.1	4.7	15.6	131.3
	高等専修・専門・予備校生	(8人)	50.0	37.5	37.5	12.5	12.5	-	25.0	175.0
有 職 ・ 無 職	（ 計 ）	(140人)	56.4	21.4	17.1	13.6	4.3	0.7	17.9	131.4
	有職	(103人)	52.4	23.3	15.5	13.6	3.9	-	20.4	129.1
	無職	(37人)	67.6	16.2	21.6	13.5	5.4	2.7	10.8	137.8

(参考) 平成 18 年調査「薬物乱用対策に関する世論調査」

(%)

	該当者数	ウ) 自分とは関係のない問題	エ) 薬物問題についてよく知らない	イ) 広がっている恐れが感じられない*	オ) 薬物の使用は個人の自由	ア) 拡大しても市民の安全さは脅かされない*	その他	特に理由はない	わからない	計 (M. T.)
[年齢]										
15～19歳	54	70.4	11.1	16.7	18.5	1.9	-	1.9	-	120.4
20歳以上 (小計)	925	76.4	20.8	12.5	3.8	2.2	1.7	4.1	1.1	122.6
20～29歳	105	68.6	23.8	11.4	14.3	4.8	1.0	2.9	-	126.7
30～39歳	160	81.3	15.6	17.5	5.6	1.9	-	2.5	0.6	125.0
40～49歳	111	77.5	22.5	15.3	1.8	2.7	2.7	1.8	1.8	126.1
50～59歳	159	78.6	22.6	18.2	1.9	1.3	2.5	3.1	0.6	128.9
60～69歳	196	76.0	20.9	10.7	1.0	2.0	3.6	4.6	-	118.9
70歳以上	194	74.7	20.6	4.6	2.1	1.5	0.5	7.7	3.1	114.9

* : (参考) の表で回答の選択肢が長い場合は、その一部を省略して表章してある (以下、同様)。

2. 薬物についての見聞き

(1) 薬物に関する知識の内容

Q4. あなたは、薬物に関する次のことについて、見たり、聞いたりしたことがありますか。次の中からいくつでもお選びください。(複数選択可)

		(%)												
n		薬物の心身に及ぼす弊害や中毒について	薬物の名前や形、使い方など	薬としての働き(薬理作用)について	青少年の薬物乱用について	薬物犯罪の発生や取締りについて	薬物中毒者の治療と社会復帰のための支援について	薬物密売人や密輸組織について	薬物乱用による死亡、交通事故等の事故について	火、強盗・窃盗などの二次犯罪について	薬物乱用者による殺人、放	その他	見たことも聞いたこともない	回答計
[年 齢 別]														
10代・20代(計)	(824人)	75.2	69.1	59.0	54.9	40.8	38.0	32.0	30.0	27.2	-	7.4	433.5	
10代	(408人)	76.0	70.3	64.2	56.1	41.9	35.0	32.4	30.4	27.7	-	7.8	441.9	
20代	(416人)	74.5	67.8	53.8	53.6	39.7	40.9	31.7	29.6	26.7	-	7.0	425.2	
30代以上(計)	(825人)	77.5	53.5	39.6	55.9	43.0	38.5	35.6	37.3	43.0	-	8.7	432.7	
30代	(207人)	72.0	53.6	42.0	49.3	40.1	38.2	30.4	28.5	27.1	-	10.6	391.8	
40代	(208人)	76.0	56.7	42.8	57.7	39.9	37.5	34.1	37.5	41.3	-	9.6	433.2	
50代	(206人)	80.1	51.9	32.5	58.7	42.2	39.8	37.9	39.3	45.6	-	4.9	433.0	
60代以上	(204人)	81.9	51.5	41.2	57.8	50.0	38.7	40.2	44.1	58.3	-	9.8	473.5	

薬物に関することについて、見たり、聞いたりしたことがあることは何か聞いたところ、10代、20代、30代以上(計)ともに「薬物の心身に及ぼす弊害や中毒について」(10代76.0%、20代74.5%、30代以上(計)77.5%)を挙げた者の割合が最も高く、7割以上となっている。次いで、10代、20代では「薬物の名前や形、使い方など」(10代70.3%、20代67.8%)が挙げられている。また、10代では他の年代と比べて「薬としての働き(薬理作用)について」(64.2%)を挙げた者の割合が高く、6割以上となっている。

10代・20代性・年齢別にみると、「薬物の名前や形、使い方など」を挙げた者の割合は女性（71.7%）で7割以上となっている。「薬としての働き（薬理作用）」を挙げた者の割合は男女ともに10代で高く、6割以上となっている（男性10代62.9%、女性10代65.5%）。「青少年の薬物乱用について」を挙げた者の割合は男性（48.0%）より女性（61.6%）で高く、約14ポイントの差がみられる。

10代・20代学職別にみると、「薬物の名前や形、使い方など」を挙げた者の割合は高校生（72.8%）、短大・大学・大学院生（75.6%）で高く、7割以上となっている。また、「薬としての働き（薬理作用）について」を挙げた者の割合も高校生（69.2%）、短大・大学・大学院生（64.8%）で高い。「青少年の薬物乱用について」を挙げた者の割合は短大・大学・大学院生（64.2%）で高く、6割以上となっている。

図表 2-2-2-1 薬物に関する知識の内容

		(%)												
n		薬物の心身に及ぼす弊害や中毒について	薬物の名前や形、使い方など	薬としての働き（薬理作用）について	青少年の薬物乱用について	薬物犯罪の発生や取締りについて	薬物中毒者の治療と社会復帰のための支援について	薬物密売人や密輸組織について	薬物乱用による死亡、交通事故等の事故について	薬物乱用者による殺人、放火、強盗・窃盗などの二次犯罪について	その他	見たことも聞いたこともない	回答計	
〔性・年齢別〕														
男性	10代・20代（計）	(410人)	72.2	66.3	57.6	48.0	42.7	33.4	32.7	29.8	28.3	-	9.3	420.2
	10代	(202人)	74.8	68.8	62.9	53.5	46.0	32.7	34.2	30.7	28.7	-	8.9	441.1
	20代	(208人)	69.7	63.9	52.4	42.8	39.4	34.1	31.3	28.8	27.9	-	9.6	400.0
女性	10代・20代（計）	(414人)	78.3	71.7	60.4	61.6	38.9	42.5	31.4	30.2	26.1	-	5.6	446.6
	10代	(206人)	77.2	71.8	65.5	58.7	37.9	37.4	30.6	30.1	26.7	-	6.8	442.7
	20代	(208人)	79.3	71.6	55.3	64.4	39.9	47.6	32.2	30.3	25.5	-	4.3	450.5
〔10代・20代（計）学職別〕														
学 生	（ 計 ）	(413人)	78.2	74.1	66.6	60.8	43.3	37.5	32.7	30.0	27.6	-	6.3	457.1
	高校生	(195人)	76.4	72.8	69.2	58.5	42.1	35.4	32.8	33.8	29.7	-	5.6	456.4
	短大・大学・大学院生	(193人)	79.8	75.6	64.8	64.2	45.1	42.5	31.6	28.0	26.4	-	5.7	463.7
	高等専修・専門・予備校生	(25人)	80.0	72.0	60.0	52.0	40.0	16.0	40.0	16.0	20.0	-	16.0	412.0
有 職 ・ 無 職	（ 計 ）	(411人)	72.3	64.0	51.3	48.9	38.2	38.4	31.4	29.9	26.8	-	8.5	409.7
	有職	(303人)	71.9	65.3	52.1	49.5	39.3	37.3	31.0	30.0	28.1	-	7.9	412.5
	無職	(108人)	73.1	60.2	49.1	47.2	35.2	41.7	32.4	29.6	23.1	-	10.2	401.9

(参考) 平成 18 年調査「薬物乱用対策に関する世論調査」

(%)

	該当者数	ウ) 薬物の心身に及ぼす弊害や中毒について	ク) 薬物の青少年の乱用について	カ) 薬物乱用者による殺人などの二次犯罪*	ア) 薬物の名前や形, 使い方など	キ) 薬物乱用による死亡等の事故*	エ) 薬物密売人や密輸組織について	オ) 薬物犯罪の発生や取締りについて
[年齢]								
15～19歳	124	61.3	57.3	40.3	55.6	35.5	21.8	28.2
20歳以上 (小計)	2499	58.8	52.5	51.7	45.8	41.9	41.9	40.2
20～29歳	254	59.8	55.1	40.2	55.9	41.7	33.5	37.4
30～39歳	383	67.4	59.5	50.7	58.0	38.4	37.1	41.0
40～49歳	406	69.2	66.7	61.3	59.4	50.5	51.0	51.2
50～59歳	496	65.7	57.1	57.7	48.0	47.8	48.8	44.2
60～69歳	531	54.4	46.0	53.9	35.4	41.6	45.0	39.9
70歳以上	429	38.0	34.0	40.6	26.6	30.8	31.0	26.6

	該当者数	イ) 薬としての働き (薬理作用) について	ケ) 治療と社会復帰のための支援について*	その他	見たことも聞いたこともない	わからない	計 (M. T.)
[年齢]							
15～19歳	124	43.5	32.3	-	8.1	3.2	387.1
20歳以上 (小計)	2499	31.3	29.4	0.3	10.0	3.1	407.0
20～29歳	254	40.2	39.4	-	7.5	0.8	411.4
30～39歳	383	38.4	31.6	0.3	6.5	1.3	430.0
40～49歳	406	42.4	40.4	-	5.2	1.7	499.0
50～59歳	496	31.5	29.6	0.4	8.1	1.6	440.3
60～69歳	531	23.9	24.9	0.4	11.1	3.6	380.0
70歳以上	429	17.9	16.3	0.7	20.3	8.6	291.4

(2) 薬物に関する知識の情報源

【Q5は、Q4で1～10をお選びの、薬物に関して見たり聞いたりしたことのある方にお聞きします。】

Q5. 薬物に関することを見たり聞いたりしたのは、何によってですか。次の中からいくつかでもお選びください。(複数選択可)

(%)

n		テレビ、ラジオ	学校の授業、 用防止教室、 薬物乱	新聞	インターネット	ポスター、 パンフ レット	本、 雑誌	D 映画、 ビデオ、 D V	友人、 同僚、 先輩や 後輩など との会話
[年 齢 別]									
10代・20代 (計)	(763人)	81.0	56.1	38.9	35.0	18.7	15.9	12.6	12.5
10 代	(376人)	74.2	73.9	31.9	26.6	19.9	12.0	9.6	8.0
20 代	(387人)	87.6	38.8	45.7	43.2	17.6	19.6	15.5	16.8
30代以上 (計)	(753人)	94.6	5.3	68.9	32.9	17.9	22.0	13.4	12.5
30 代	(185人)	95.1	4.9	58.9	42.2	12.4	22.2	11.9	16.2
40 代	(188人)	92.6	8.5	63.8	33.0	17.6	23.4	14.4	16.0
50 代	(196人)	93.4	4.6	67.3	28.1	16.8	18.4	10.2	8.2
60代以上	(184人)	97.3	3.3	85.9	28.8	25.0	24.5	17.4	9.8

n		講演会、 座談会など	家族との 会話	国や地方 自治体など の広報誌	携帯電 話	見知ら ない人 との会 話	その他	覚えて いない ・わか らない	回答計
[年 齢 別]									
10代・20代 (計)	(763人)	10.9	6.4	6.3	3.5	1.2	0.3	0.5	299.7
10 代	(376人)	15.7	6.6	5.9	4.3	1.3	0.3	-	290.2
20 代	(387人)	6.2	6.2	6.7	2.8	1.0	0.3	1.0	309.0
30代以上 (計)	(753人)	3.9	7.3	15.4	0.4	0.8	0.7	0.3	296.3
30 代	(185人)	0.5	5.9	4.3	0.5	2.7	-	-	277.8
40 代	(188人)	3.2	4.8	10.1	0.5	-	1.1	1.1	289.9
50 代	(196人)	6.6	8.2	15.3	-	-	0.5	-	277.6
60代以上	(184人)	4.9	10.3	32.1	0.5	0.5	1.1	-	341.3

薬物に関することを「見聞きしたことがある」と答えた者に、見たり聞いたりしたのは何によってか聞いたところ、10代、20代、30代以上（計）ともに「テレビ、ラジオ」（10代 74.2%、20代 87.6%、30代以上（計） 94.6%）を挙げた者の割合が最も高く、30代以上（計）では9割以上となっている。次いで、10代では「学校の授業、薬物乱用防止教室」（73.9%）、20代、30代以上（計）では「新聞」（20代 45.7%、30代以上（計） 68.9%）が挙げられた。20代では「インターネット」（43.2%）が他の年代に比べて高く、4割以上となっている。

10代・20代性・年齢別にみると、「学校の授業、薬物乱用防止教室」を挙げた者の割合は男性（50.0%）より女性（61.9%）で高く、女性10代（80.7%）では約8割となっている。「インターネット」は女性（28.9%）より男性（41.4%）で高く、男性20代（47.3%）では5割近くとなっている。

10代・20代学職別にみると、「学校の授業、薬物乱用防止教室」を挙げた者の割合は高校生（81.5%）、短大・大学・大学院生（77.5%）で高く、高校生では8割以上となっている。「インターネット」、「友人、同僚、先輩や後輩などとの会話」を挙げた者の割合は有職（42.7%、16.5%）で、それぞれ高くなっている。

図表 2-2-2-2 薬物に関する知識の情報源

		(%)								
n		テレビ、ラジオ	学校の授業、薬物乱用防止教室	新聞	インターネット	ポスター、パンフ	本、雑誌	D映画、ビデオ、DV	友人、同僚、先輩や後輩などとの会話	
〔性・年齢別〕										
男性	10代・20代（計）	(372人)	79.0	50.0	40.6	41.4	16.1	16.1	9.1	12.4
	10代	(184人)	74.5	66.8	37.0	35.3	17.9	14.1	8.7	8.7
	20代	(188人)	83.5	33.5	44.1	47.3	14.4	18.1	9.6	16.0
女性	10代・20代（計）	(391人)	82.9	61.9	37.3	28.9	21.2	15.6	15.9	12.5
	10代	(192人)	74.0	80.7	27.1	18.2	21.9	9.9	10.4	7.3
	20代	(199人)	91.5	43.7	47.2	39.2	20.6	21.1	21.1	17.6
〔10代・20代（計）学職別〕										
学 生	（ 計 ）	(387人)	75.2	78.8	36.2	29.5	20.7	14.7	11.1	10.9
	高校生	(184人)	70.7	81.5	33.7	22.8	22.8	12.5	9.8	9.8
	短大・大学・大学院生	(182人)	79.7	77.5	38.5	35.7	19.8	17.0	11.5	12.1
	高等専修・専門・予備校生	(21人)	76.2	66.7	38.1	33.3	9.5	14.3	19.0	9.5
有 職 ・ 無 職	（ 計 ）	(376人)	87.0	32.7	41.8	40.7	16.8	17.0	14.1	14.1
	有職	(279人)	86.4	31.2	44.1	42.7	17.9	19.4	12.9	16.5
	無職	(97人)	88.7	37.1	35.1	35.1	13.4	10.3	17.5	7.2

n		講演会、座談会など	家族との会話	国や地方自治体などの広報誌	携帯電話	見知らない人との会話	その他	覚えていない・わか	回答計	
〔性・年齢別〕										
男性	10代・20代（計）	(372人)	9.9	3.8	5.1	4.0	1.3	-	0.8	289.8
	10代	(184人)	14.7	4.9	6.0	5.4	1.6	-	-	295.7
	20代	(188人)	5.3	2.7	4.3	2.7	1.1	-	1.6	284.0
女性	10代・20代（計）	(391人)	11.8	9.0	7.4	3.1	1.0	0.5	0.3	309.2
	10代	(192人)	16.7	8.3	5.7	3.1	1.0	0.5	-	284.9
	20代	(199人)	7.0	9.5	9.0	3.0	1.0	0.5	0.5	332.7
〔10代・20代（計）学職別〕										
学 生	（ 計 ）	(387人)	15.0	7.2	7.0	4.1	0.8	-	0.3	311.4
	高校生	(184人)	15.2	9.2	7.1	4.3	1.1	-	-	300.5
	短大・大学・大学院生	(182人)	14.8	5.5	7.1	3.8	0.5	-	0.5	324.2
	高等専修・専門・予備校生	(21人)	14.3	4.8	4.8	4.8	-	-	-	295.2
有 職 ・ 無 職	（ 計 ）	(376人)	6.6	5.6	5.6	2.9	1.6	0.5	0.8	287.8
	有職	(279人)	6.1	5.4	6.1	3.9	1.8	0.7	0.7	295.7
	無職	(97人)	8.2	6.2	4.1	-	1.0	-	1.0	264.9

(参考) 平成 18 年調査「薬物乱用対策に関する世論調査」

(%)

	該当者数	イ) テレビ, ラジオ	ア) 新聞	オ) 本, 雑誌	カ) ポスター, パンフレット	ウ) 映画, ビデオ, DVD	ク) 国や 地方自治 体などの 広報誌	キ) 学校の授業, 薬物乱用 防止教室
[年齢]								
15～19歳	110	75.5	33.6	20.9	28.2	18.2	2.7	73.6
20歳以上 (小計)	2170	96.3	73.4	33.5	28.8	19.1	18.0	13.8
20～29歳	233	93.1	51.5	30.0	24.9	24.9	8.2	41.6
30～39歳	353	96.9	70.5	33.1	29.5	22.4	14.7	13.9
40～49歳	378	96.3	80.4	42.9	38.6	27.8	24.6	22.8
50～59歳	448	96.0	77.9	39.3	32.6	19.0	20.5	8.3
60～69歳	453	97.1	78.1	32.5	25.6	12.8	19.4	4.4
70歳以上	305	97.0	71.1	18.4	18.4	9.5	15.1	3.6

	該当者数	コ) 家族, 地域 での会話	エ) イン ターネッ ト	ケ) 講演 会, 座談 会など	その他	覚えてい ない・わ からない	計 (M. T.)
[年齢]							
15～19歳	110	8.2	8.2	17.3	0.9	-	287.3
20歳以上 (小計)	2170	11.7	8.5	7.1	1.2	0.5	311.9
20～29歳	233	14.2	15.9	4.7	-	0.9	309.9
30～39歳	353	9.6	13.6	4.5	1.1	0.6	310.5
40～49歳	378	13.5	13.5	10.6	1.6	-	372.5
50～59歳	448	13.2	6.9	7.6	2.0	0.7	323.9
60～69歳	453	11.0	3.5	7.5	1.3	0.4	293.8
70歳以上	305	8.5	0.3	6.2	0.7	0.3	249.2

3. 薬物に対する認識

(1) 薬物名の周知度

Q6. 最近、乱用が問題になっている薬物について、あなたが知っている名前がありましたら、次の中からいくつでもお選びください。(複数選択可)

(%)

n		覚せい剤 (エス、スピード、 シヤブ)	コカイン	シンナー	乾燥大麻 (マリファナ)	M D M A (エクスタシー)	ヘロイン	あへん	マジック・マッシュルーム	大麻樹脂 (ハシツシユ)
[年 齢 別]										
10代・20代 (計)	(824人)	94.2	84.3	83.3	82.4	78.0	73.2	69.5	60.7	52.7
10 代	(408人)	92.4	80.9	82.6	80.1	74.5	67.9	70.3	59.1	51.5
20 代	(416人)	95.9	87.7	83.9	84.6	81.5	78.4	68.8	62.3	53.8
30代以上 (計)	(825人)	89.8	89.2	86.9	88.1	73.1	87.2	76.7	45.8	63.2
30 代	(207人)	91.3	89.9	85.5	89.9	81.6	83.6	72.0	60.4	58.5
40 代	(208人)	92.8	89.4	86.1	90.4	80.8	90.4	73.6	57.7	67.3
50 代	(206人)	89.3	85.4	85.0	86.9	71.4	85.9	78.2	41.3	61.2
60代以上	(204人)	85.8	92.2	91.2	85.3	58.3	88.7	83.3	23.5	65.7

n		L S D	向精神薬 (ハルシオン等)	トルエン	M D A (ラブドラッグ)	ガスパン (ブタンガス)	5ーMeOーD I P T (ゴメ)	その他	知っているものはない	回答計
[年 齢 別]										
10代・20代 (計)	(824人)	36.4	34.5	32.2	18.0	15.5	1.5	0.1	2.2	818.6
10 代	(408人)	31.6	28.9	23.3	15.0	15.0	1.5	0.2	2.7	777.5
20 代	(416人)	41.1	39.9	40.9	20.9	16.1	1.4	-	1.7	858.9
30代以上 (計)	(825人)	57.7	48.5	64.7	16.5	18.2	0.7	0.5	1.6	908.4
30 代	(207人)	54.6	48.8	58.0	17.9	19.8	1.0	1.0	1.4	915.0
40 代	(208人)	62.0	52.4	69.7	16.3	21.2	0.5	0.5	1.4	952.4
50 代	(206人)	58.7	45.1	65.0	12.1	17.5	0.5	-	1.9	885.4
60代以上	(204人)	55.4	47.5	66.2	19.6	14.2	1.0	0.5	1.5	879.9

最近、乱用が問題になっている薬物について、知っている名前があるか聞いたところ、10代、20代、30代以上（計）ともに「覚せい剤（エス、スピード、シャブ）」（10代 92.4%、20代 95.9%、30代以上（計） 89.8%）を挙げた者の割合が最も高く、10代、20代では9割以上、30代以上（計）では約9割となっている。次いで、10代では「シンナー」（82.6%）が、20代、30代以上（計）では「コカイン」（20代 87.7%、30代以上（計） 89.2%）が挙げられている。また、20代では「MDMA（エクスタシー）」（81.5%）を挙げた者の割合が高くなっている。

10代・20代性・年齢別にみると、男性、女性ともに「覚せい剤（エス、スピード、シヤブ）」（男性93.9%、女性94.4%）を挙げた者の割合が最も高く、9割以上を占めている。次いで、男性では「コカイン」（83.7%）が、女性では「シンナー」（87.0%）が挙げられている。「MDMA（エクスタシー）」を挙げた者の割合は女性20代（84.1%）で高く、8割以上となっている。また、「マジック・マッシュルーム」を挙げた者の割合は男性（64.4%）で高く、6割以上となっている。

10代・20代学職別にみると、「MDMA（エクスタシー）」を挙げた者の割合は短大・大学・大学院生（85.0%）で高く、8割以上となっている。

図表 2-2-3-1 薬物名の周知度

		(%)									
n		覚せい剤 （エス、 スピード、 シヤブ）	コカイン	シンナー	乾燥大麻 （マリファナ）	MDMA （エクスタシー）	ヘロイン	あへん	マジック・マッシュルーム	大麻樹脂 （ハシツシ）	
〔10代・20代性・年齢別〕											
男性	10代・20代（計）	(410人)	93.9	83.7	79.5	81.5	76.3	75.9	70.5	64.4	55.6
	10代	(202人)	93.1	81.7	80.2	80.2	73.8	70.8	69.8	65.3	55.0
	20代	(208人)	94.7	85.6	78.8	82.7	78.8	80.8	71.2	63.5	56.3
女性	10代・20代（計）	(414人)	94.4	85.0	87.0	83.3	79.7	70.5	68.6	57.0	49.8
	10代	(206人)	91.7	80.1	85.0	80.1	75.2	65.0	70.9	52.9	48.1
	20代	(208人)	97.1	89.9	88.9	86.5	84.1	76.0	66.3	61.1	51.4
〔10代・20代学職別〕											
学 生	（計）	(413人)	94.9	82.8	84.0	81.4	78.0	70.0	72.6	59.6	54.2
	高校生	(195人)	93.3	79.0	82.1	76.9	72.3	66.2	70.8	58.5	53.8
	短大・大学・大学院生	(193人)	96.9	87.0	86.0	86.0	85.0	74.1	76.7	61.1	53.9
	高等専修・専門、予備校生	(25人)	92.0	80.0	84.0	80.0	68.0	68.0	56.0	56.0	60.0
有 職 ・ 無 職	（計）	(411人)	93.4	85.9	82.5	83.5	78.1	76.4	66.4	61.8	51.1
	有職	(303人)	94.4	86.5	84.2	83.2	78.9	78.2	67.0	62.7	51.8
	無職	(108人)	90.7	84.3	77.8	84.3	75.9	71.3	64.8	59.3	49.1

n		LS D	向 精 神 薬 （ハ ル シ オ ン 等）	トル エン	MD A （ラ ブ ド ラ ツ グ）	ガ ス パ ン （ブ タ ン ガ ス）	5 M e O D I P （ゴ メ オ）	そ の 他	い 知 つ て い る も の は な	回 答 計	
〔10代・20代性・年齢別〕											
男性	10代・20代（計）	(410人)	35.9	34.4	35.4	16.8	18.3	2.2	-	2.7	826.8
	10代	(202人)	32.7	32.2	25.2	13.4	17.8	2.5	-	2.5	796.0
	20代	(208人)	38.9	36.5	45.2	20.2	18.8	1.9	-	2.9	856.7
女性	10代・20代（計）	(414人)	37.0	34.5	29.0	19.1	12.8	0.7	0.2	1.7	810.4
	10代	(206人)	30.6	25.7	21.4	16.5	12.1	0.5	0.5	2.9	759.2
	20代	(208人)	43.3	43.3	36.5	21.6	13.5	1.0	-	0.5	861.1
〔10代・20代学職別〕											
学 生	（計）	(413人)	34.1	33.2	28.6	16.9	14.5	1.7	-	1.9	808.5
	高校生	(195人)	29.7	32.3	21.5	15.9	17.4	1.5	-	2.6	773.8
	短大・大学・大学院生	(193人)	39.4	35.2	37.3	17.6	12.4	1.0	-	0.5	850.3
	高等専修・専門、予備校生	(25人)	28.0	24.0	16.0	20.0	8.0	8.0	-	8.0	756.0
有 職 ・ 無 職	（計）	(411人)	38.7	35.8	35.8	19.0	16.5	1.2	0.2	2.4	828.7
	有職	(303人)	40.9	38.3	38.3	20.8	17.2	1.7	-	2.6	846.5
	無職	(108人)	32.4	28.7	28.7	13.9	14.8	-	0.9	1.9	778.7

(参考) 平成 18 年調査「薬物乱用対策に関する世論調査」

(%)

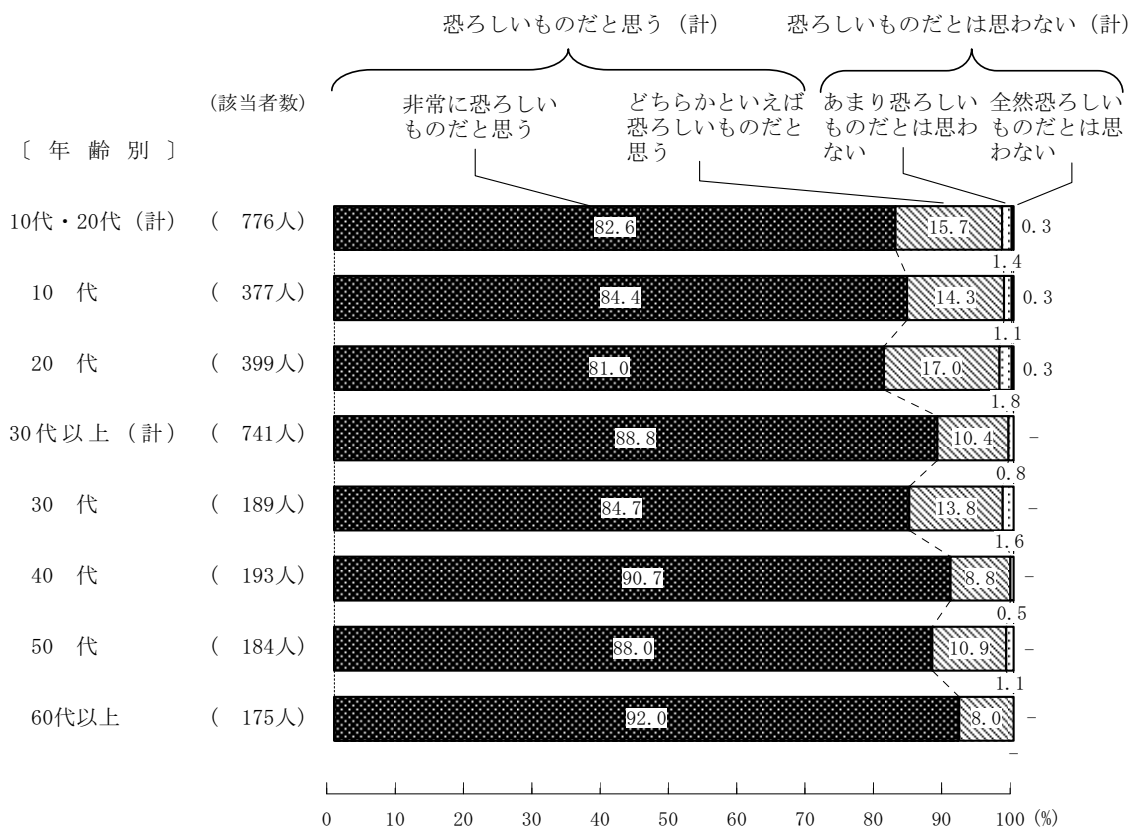
	該当者数	ア) 覚せい剤 (エス, スピード, シャブ)	ス) シンナー	オ) コカイン	エ) ヘロイン	サ) あへん	ウ) 乾燥大麻 (マリファナ)	イ) 大麻樹脂 (ハシッシュ)	セ) トルエン	ク) L S D
[年齢]										
15～19歳	124	95.2	87.9	68.5	54.8	68.5	61.3	48.4	16.1	25.0
20歳以上 (小計)	2499	88.6	87.6	81.7	81.6	76.8	70.9	57.1	48.6	37.0
20～29歳	254	96.1	95.3	89.0	78.3	73.2	81.5	55.5	44.9	47.2
30～39歳	383	97.7	92.4	89.3	83.6	76.5	80.2	65.0	55.1	43.6
40～49歳	406	94.3	94.6	92.4	93.1	85.0	82.3	67.7	67.5	53.0
50～59歳	496	92.7	87.7	85.3	86.3	81.7	72.8	63.3	55.0	47.4
60～69歳	531	83.8	85.9	78.9	81.0	77.8	65.9	51.0	42.9	26.2
70歳以上	429	71.6	74.1	59.9	66.2	64.3	49.7	41.0	26.6	11.2

	該当者数	シ) 向精神薬 (ハルシオン等)	ケ) マジック・マッシュルーム	カ) MD MA (エクスタシー)	キ) MD A (ラブリック)	コ) 5-MeO-DIPT (ゴメオ)	その他	知っているものはない・わからない	計 (M. T.)
[年齢]									
15～19歳	124	18.5	44.4	28.2	14.5	3.2	-	1.6	636.3
20歳以上 (小計)	2499	26.9	24.3	24.9	12.3	2.4	0.0	2.5	723.1
20～29歳	254	29.5	57.9	43.7	16.1	2.8	-	-	811.0
30～39歳	383	37.6	46.5	42.0	13.8	3.1	-	0.8	827.2
40～49歳	406	41.4	37.4	36.5	18.2	3.7	-	0.2	867.2
50～59歳	496	26.4	16.5	24.0	14.1	2.6	0.2	1.0	757.1
60～69歳	531	20.3	6.6	11.1	10.2	1.3	-	2.1	645.0
70歳以上	429	10.7	3.3	5.8	3.7	1.2	-	10.0	499.3

(2) 覚せい剤に対する認識

【Q7は、Q6で1をお選びの、覚せい剤を知っている方にお聞きします。】

Q7. あなたは、覚せい剤についてどう思いますか。次の中から1つだけお選びください。

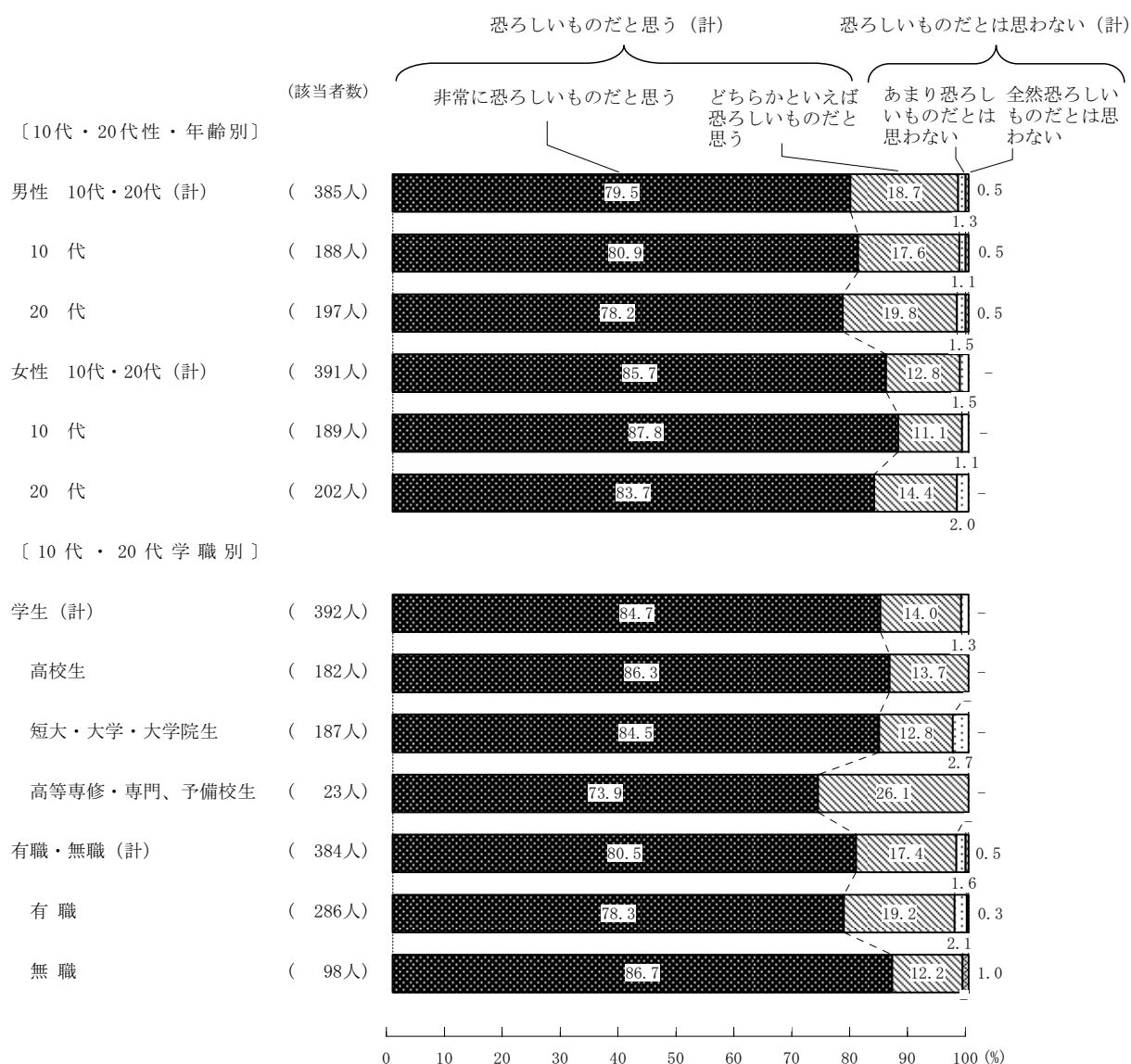


「覚せい剤 (エス、スピード、シャブ)」を知っていると答えた者に、覚せい剤についてどう思うか聞いたところ、10代、20代、30代以上 (計) とともに「恐ろしいものだと思う (計)」「(非常に恐ろしいものだと思う) + (どちらかといえば恐ろしいものだと思う)」(10代 98.7%、20代 98.0%、30代以上 (計) 99.2%) とする者の割合が多数を占め、30代以上 (計) では「非常に恐ろしいものだと思う」(88.8%) と答えた者の割合が9割近くとなっている。

10代・20代性・年齢別にみると、「非常に恐ろしいものだと思う」と答えた者の割合は男性（79.5%）より女性（85.7%）で高く、女性10代（87.8%）では9割近くとなっている。

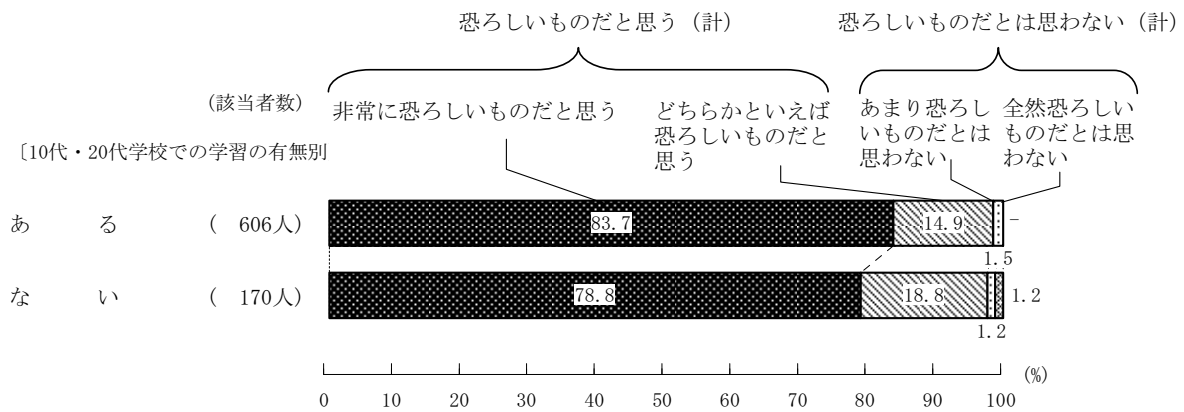
10代・20代学職別にみると、「非常に恐ろしいものだと思う」と答えた者の割合は高校生（86.3%）、短大・大学・大学院生（84.5%）、無職（86.7%）では8割以上となっているが、有職（78.3%）では8割未満となっている。

図表 2-2-3-2 覚せい剤に対する認識



10代・20代学校での薬物乱用防止学習の有無別にみると、「非常に恐ろしいものだと思う」と答えた者の割合は、学習経験がある者（83.7%）の方が経験がない者（78.8%）より高くなっている。

図表 2-2-3-3 覚せい剤に対する認識



(参考) 平成 18 年調査「薬物乱用対策に関する世論調査」

	該当者数	恐ろしいものだと思う (小計)	ア) 非常に恐ろしいものだと思う	イ) どちらかといえば恐ろしいものだと思う	恐ろしいものとは思わない (小計)	ウ) あまり恐ろしいものとは思わない	エ) 全然恐ろしいものとは思わない	わからない
[年齢]								
15～19歳	118	100.0	89.0	11.0	-	-	-	-
20歳以上 (小計)	2213	98.2	91.6	6.6	0.5	0.4	0.1	1.3
20～29歳	244	97.1	84.8	12.3	1.6	1.2	0.4	1.2
30～39歳	374	99.5	92.8	6.7	0.5	0.3	0.3	-
40～49歳	383	99.2	95.8	3.4	-	-	-	0.8
50～59歳	460	98.5	92.4	6.1	0.4	0.2	0.2	1.1
60～69歳	445	97.1	90.8	6.3	0.4	0.4	-	2.5
70歳以上	307	97.4	90.2	7.2	0.7	0.7	-	2.0

(3) 覚せい剤を恐ろしいと思う理由

【Q8は、Q7で1～2をお選びの、覚せい剤を恐ろしいと思う方にお聞きします。】

Q8. あなたが、覚せい剤を恐ろしいと思う理由は何ですか。次の中からいくつでもお選びください。(複数選択可)

(%)

n		中毒で心や体がむしばまれる	1回でも使うとやめられなくなる	使ったり、所持することは犯罪	急性中毒で死亡する恐れがある	犯罪に巻き込まれる	乱用者が殺人、窃盗、暴行などの二次犯罪を起こす	その他	特に理由はない	回答計
[年 齢 別]										
10代・20代 (計)	(763人)	88.5	83.5	58.5	57.8	51.9	39.6	1.2	1.0	381.9
10 代	(372人)	87.6	85.8	59.1	60.5	54.0	43.0	1.1	1.3	392.5
20 代	(391人)	89.3	81.3	57.8	55.2	49.9	36.3	1.3	0.8	371.9
30代以上 (計)	(735人)	93.7	76.7	62.7	61.5	64.8	64.6	1.5	0.1	425.7
30 代	(186人)	88.2	79.0	58.6	54.8	58.1	51.6	2.2	-	392.5
40 代	(192人)	93.2	80.2	63.5	63.0	64.6	66.1	1.6	0.5	432.8
50 代	(182人)	95.6	71.4	61.5	59.9	64.8	66.5	1.1	-	420.9
60代以上	(175人)	98.3	76.0	67.4	68.6	72.0	74.9	1.1	-	458.3

「覚せい剤 (エス、スピード、シャブ)」を知っていると答え、覚せい剤を「恐ろしいものだと思う (計)」とする者に、その理由を聞いたところ、10代、20代、30代以上 (計)ともに「中毒で心や体がむしばまれる」(10代87.6%、20代89.3%、30代以上(計)93.7%)を挙げた者の割合が最も高く、次いで、「1回でも使うとやめられなくなる」(10代85.8%、20代81.3%、30代以上(計)76.7%)が挙げられた。「中毒で心や体がむしばまれる」は年代が上がるにつれ割合が高くなり、30代以上(計)では9割以上を占めている。一方、「1回でも使うとやめられなくなる」は年代が下がるにつれ割合が高くなり、10代では8割半ばとなっている。

10代・20代性・年齢別にみると、男性、女性ともに「中毒で心や体がむしばまれる」（男性87.0%、女性89.9%）を挙げた者の割合が最も高く、次いで「1回でも使うとやめられなくなる」（男性80.4%、女性86.5%）が挙げられた。「1回でも使うとやめられなくなる」は男性より女性で高く、女性10代（88.8%）では9割近くとなっている。

10代・20代学職別にみると、「1回でも使うとやめられなくなる」を挙げた者の割合は高校生（86.8%）、短大・大学・大学院生（86.3%）、無職（90.7%）では9割前後となっているが、有職（76.7%）では8割未満となっている。「使ったり、所持することは犯罪」を挙げた者の割合は無職（71.1%）で高く、7割以上となっている。

図表 2-2-3-4 覚せい剤を恐ろしいと思う理由

(%)

n		中毒で心や体がむしばまれる	1回でも使うとやめられなくなる	使ったり、所持することは犯罪	急性中毒で死亡する恐れがある	犯罪に巻き込まれる	乱用者が殺人、窃盗、暴行などの二次犯罪を起こす	その他	特に理由はない	回答計	
〔10代・20代性・年齢別〕											
男性	10代・20代（計）	(378人)	87.0	80.4	55.6	57.7	51.3	37.8	0.8	0.5	371.2
	10代	(185人)	86.5	82.7	60.5	64.9	57.8	43.8	0.5	0.5	397.3
	20代	(193人)	87.6	78.2	50.8	50.8	45.1	32.1	1.0	0.5	346.1
女性	10代・20代（計）	(385人)	89.9	86.5	61.3	57.9	52.5	41.3	1.6	1.6	392.5
	10代	(187人)	88.8	88.8	57.8	56.1	50.3	42.2	1.6	2.1	387.7
	20代	(198人)	90.9	84.3	64.6	59.6	54.5	40.4	1.5	1.0	397.0
〔10代・20代学職別〕											
学 生	（ 計 ）	(387人)	88.6	86.6	58.1	58.4	54.5	42.1	1.3	1.0	390.7
	高校生	(182人)	88.5	86.8	56.6	59.9	54.9	44.0	1.1	1.6	393.4
	短大・大学・大学院生	(182人)	90.1	86.3	58.8	55.5	53.3	41.8	1.1	0.5	387.4
	高等専修・専門、予備校生	(23人)	78.3	87.0	65.2	69.6	60.9	30.4	4.3	-	395.7
有 職 ・ 無 職	（ 計 ）	(376人)	88.3	80.3	58.8	57.2	49.2	37.0	1.1	1.1	372.9
	有職	(279人)	87.1	76.7	54.5	54.8	48.7	35.1	1.1	1.1	359.1
	無職	(97人)	91.8	90.7	71.1	63.9	50.5	42.3	1.0	1.0	412.4

10代・20代学校での薬物乱用防止学習の有無別にみると、いずれの項目も学習経験のあるの方が回答率が高く、特に「1回でも使うとやめられなくなる」、「犯罪に巻き込まれる」、「乱用者が殺人、窃盗、暴行などの二次犯罪を起こす」は7～8ポイントの差がある。

図表 2-2-3-5 覚せい剤を恐ろしいと思う理由

n		中毒で心や体がむしばまれる	1回でも使うとやめられなくなる	使ったり、所持することは犯罪	急性中毒で死亡する恐れがある	犯罪に巻き込まれる	乱用者が殺人、窃盗、暴行などの二次犯罪を起こす	その他	特に理由はない	回答計
〔10代・20代学校での学習の有無別〕										
あ	る (597人)	88.9	85.3	58.6	58.5	53.4	41.4	1.3	1.0	388.4
な	い (166人)	86.7	77.1	57.8	55.4	46.4	33.1	0.6	1.2	358.4

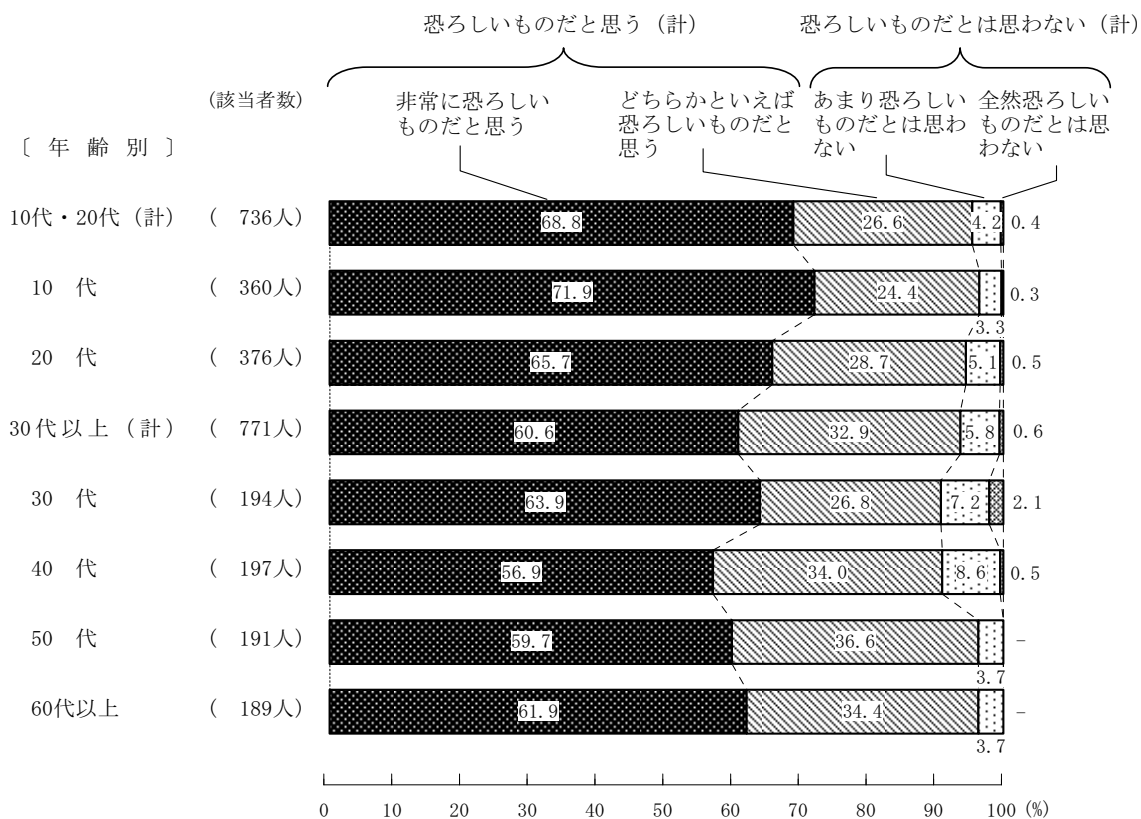
(参考) 平成 18 年調査「薬物乱用対策に関する世論調査」

〔年齢〕	該当者数	ア) 中毒で心や体がむしばまれる	ウ) 1回でも使うとやめられなくなる	カ) 乱用者が殺人などの二次犯罪を起こす*	エ) 犯罪に巻き込まれる	オ) 使ったり、所持することは犯罪	イ) 急性中毒で死亡する恐れがある	その他	特に理由はない	わからない	計 (M. T.)
15～19歳	118	73.7	76.3	48.3	41.5	50.0	44.9	-	-	-	334.7
20歳以上 (小計)	2173	90.3	70.6	62.3	61.9	58.1	50.9	0.1	-	0.4	394.8
20～29歳	237	87.8	74.3	54.0	50.2	55.7	44.3	-	-	-	366.2
30～39歳	372	93.0	76.1	63.4	62.4	56.7	52.2	-	-	0.5	404.3
40～49歳	380	93.4	75.8	71.8	65.8	62.4	56.8	0.3	-	0.3	426.6
50～59歳	453	91.2	68.0	61.8	64.2	58.9	54.3	0.2	-	0.2	398.9
60～69歳	432	88.7	67.8	61.3	64.1	59.5	50.2	0.2	-	0.2	392.1
70歳以上	299	86.0	62.5	57.5	59.2	53.2	43.1	-	-	1.0	362.5

(4) 大麻（大麻樹脂、乾燥大麻）に対する認識

【Q 9は、Q 6で2～3をお選びの、大麻樹脂、乾燥大麻を知っている方にお聞きします。】

Q 9. あなたは、大麻（大麻樹脂、乾燥大麻）についてどう思いますか。次の中から1つだけお選びください。

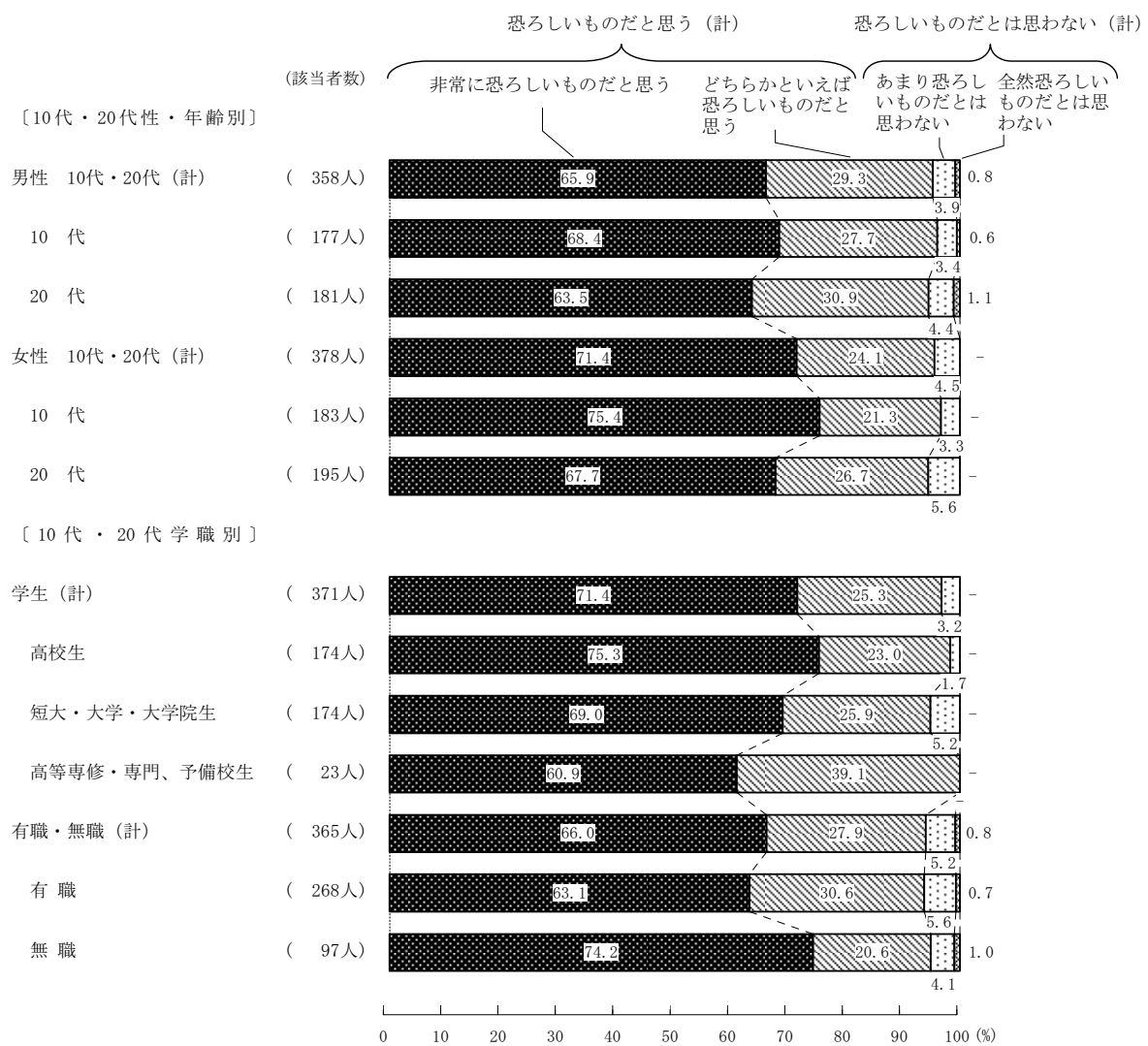


大麻（「大麻樹脂（ハシッシュ）」、「乾燥大麻（マリファナ）」のいずれか、または両方）を知っていると答えた者に、大麻（大麻樹脂、乾燥大麻）についてどう思うか聞いたところ、10代、20代、30代以上（計）ともに「恐ろしいものだと思う（計）」（「非常に恐ろしいものだと思う」＋「どちらかといえば恐ろしいものだと思う」）（10代96.4%、20代94.4%、30代以上（計）93.5%）とする者の割合が9割以上を占めている。10代では「非常に恐ろしいものだと思う」（71.9%）と答えた者の割合が高く、7割以上となっている。

10代・20代性・年齢別にみると、「非常に恐ろしいものだと思う」と答えた者の割合は男性（65.9%）より女性（71.4%）で高く、女性10代（75.4%）では7割以上となっている。

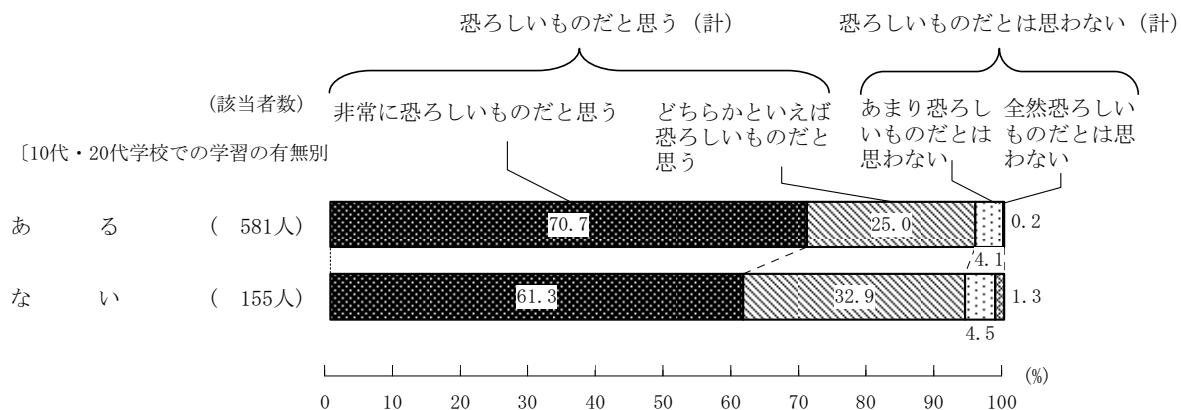
10代・20代学職別にみると、「非常に恐ろしいものだと思う」と答えた者の割合は高校生（75.3%）、無職（74.2%）で高く、7割以上となっている。

図表 2-2-3-6 大麻（大麻樹脂、乾燥大麻）に対する認識



10代・20代学校での薬物乱用防止学習の有無別にみると、「非常に恐ろしいものだと思う」と答えた者の割合は、学習経験がある者（70.7%）の方が経験がない者（61.3%）より高くなっている。

図表 2-2-3-7 大麻（大麻樹脂、乾燥大麻）に対する認識



(参考) 平成 18 年調査「薬物乱用対策に関する世論調査」

	該当者数	恐ろしいものだと思う (小計)	ア) 非常に恐ろしいものだと思う	イ) どちらかといえば恐ろしいものだと思う	恐ろしいものだとは思わない (小計)	ウ) あまり恐ろしいものだとは思わない	エ) 全然恐ろしいものだとは思わない	わからない
[年齢]								
15～19歳	96	95.8	82.3	13.5	2.1	2.1	-	2.1
20歳以上 (小計)	2044	94.0	78.9	15.1	2.6	2.3	0.2	3.4
20～29歳	227	89.9	69.6	20.3	4.8	4.8	-	5.3
30～39歳	350	95.1	80.9	14.3	2.9	2.6	0.3	2.0
40～49歳	366	96.2	82.2	13.9	2.2	1.4	0.8	1.6
50～59歳	421	94.8	77.4	17.3	2.4	2.4	-	2.9
60～69歳	411	92.7	79.3	13.4	2.2	1.9	0.2	5.1
70歳以上	269	93.7	81.4	12.3	1.9	1.9	-	4.5

(5) 大麻を恐ろしいと思う理由

【Q10は、Q9で1～2をお選びの、大麻を恐ろしいと思う方にお聞きします。】

Q10. あなたが、大麻を恐ろしいと思う理由は何ですか。次の中からいくつでもお選びください。（複数選択可）

(%)

n		中毒で心や体がむしばまれる	な1回でも使うとやめられなくなる	所持することは犯罪	急性中毒で意識障害などをおこす恐れがある	犯罪に巻き込まれる	乱用者が殺人、窃盗、暴行などの二次犯罪を起こす	その他	特に理由はない	回答計
[年 齢 別]										
10代・20代（計）	(702人)	80.8	75.4	57.3	54.8	46.3	33.9	1.1	1.7	351.3
10代	(347人)	79.0	76.7	57.1	58.2	47.3	36.6	1.2	1.4	357.3
20代	(355人)	82.5	74.1	57.5	51.5	45.4	31.3	1.1	2.0	345.4
30代以上（計）	(721人)	80.4	64.1	64.1	56.2	53.1	45.9	1.8	1.4	367.0
30代	(176人)	76.1	69.3	58.5	54.5	45.5	38.1	2.3	0.6	344.9
40代	(179人)	76.5	60.3	66.5	54.7	54.2	43.6	3.4	1.7	360.9
50代	(184人)	80.4	58.7	62.0	54.9	53.8	44.6	0.5	3.3	358.2
60代以上	(182人)	88.5	68.1	69.2	60.4	58.8	57.1	1.1	-	403.3

大麻（「大麻樹脂（ハシッシュ）、「乾燥大麻（マリファナ）」のいずれか、または両方）を知っていると答え、大麻を「恐ろしいものだと思う（計）」とする者に、その理由を聞いたところ、10代、20代、30代以上（計）ともに「中毒で心や体がむしばまれる」（10代79.0%、20代82.5%、30代以上（計）80.4%）を挙げた者の割合が最も高く、次いで、「1回でも使うとやめられなくなる」（10代76.7%、20代74.1%、30代以上（計）64.1%）が挙げられた。「1回でも使うとやめられなくなる」は年代が下がるにつれ割合が高くなり、10代、20代の若年層では7割以上となっている。

10代・20代性・年齢別にみると、「1回でも使うとやめられなくなる」を挙げた者の割合は男性（72.4%）より女性（78.1%）で高く、女性10代（82.5%）では8割以上となっている。

10代・20代学職別にみると、「1回でも使うとやめられなくなる」を挙げた者の割合は高校生（77.2%）、短大・大学・大学院生（81.2%）で高く、短大・大学・大学院生では8割以上となっている。

図表 2-2-3-8 大麻を恐ろしいと思う理由

(%)

n		中毒で心や体がむしばまれる	なる1回でも使うとやめられなくなる	所持することは犯罪	急性中毒で意識障害などを起こす恐れがある	犯罪に巻き込まれる	乱用者が殺人、窃盗、暴行などの二次犯罪を起こす	その他	特に理由はない	回答計	
〔10代・20代性・年齢別〕											
男性	10代・20代（計）	(341人)	79.2	72.4	54.5	56.3	46.3	32.3	0.6	2.1	343.7
	10代	(170人)	75.3	70.6	57.1	61.2	49.4	34.7	0.6	1.2	350.0
	20代	(171人)	83.0	74.3	52.0	51.5	43.3	29.8	0.6	2.9	337.4
女性	10代・20代（計）	(361人)	82.3	78.1	59.8	53.5	46.3	35.5	1.7	1.4	358.4
	10代	(177人)	82.5	82.5	57.1	55.4	45.2	38.4	1.7	1.7	364.4
	20代	(184人)	82.1	73.9	62.5	51.6	47.3	32.6	1.6	1.1	352.7
〔10代・20代学職別〕											
学 生	（ 計 ）	(359人)	80.5	79.9	56.3	57.1	51.0	36.8	1.4	0.8	363.8
	高校生	(171人)	80.7	77.2	56.7	58.5	51.5	40.9	1.8	1.2	368.4
	短大・大学・大学院生	(165人)	81.2	81.2	55.8	55.2	50.9	34.5	0.6	0.6	360.0
	高等専修・専門・予備校生	(23人)	73.9	91.3	56.5	60.9	47.8	21.7	4.3	-	356.5
有 職 ・ 無 職	（ 計 ）	(343人)	81.0	70.6	58.3	52.5	41.4	30.9	0.9	2.6	338.2
	有職	(251人)	80.1	68.9	56.2	51.8	41.8	30.7	1.2	2.8	333.5
	無職	(92人)	83.7	75.0	64.1	54.3	40.2	31.5	-	2.2	351.1

10代・20代学校での薬物乱用防止学習の有無別にみると、「1回でも使うとやめられなくなる」、「急性中毒で死亡する恐れがある」は、学習経験のある者の方が10ポイント以上高くなっている。

図表 2-2-3-9 大麻を恐ろしいと思う理由

(%)

n		中毒で心や体がむしばまれる	1回でも使うとやめられなくなる	所持することは犯罪	急性中毒で意識障害などをおこす恐れがある	犯罪に巻き込まれる	乱用者が殺人、窃盗、暴行などの二次犯罪を起こす	その他	特に理由はない	回答計
〔10代・20代学校での学習の有無別〕										
あ	る (556人)	80.4	77.7	56.7	57.2	47.7	34.4	1.3	1.4	356.7
な	い (146人)	82.2	66.4	59.6	45.9	41.1	32.2	0.7	2.7	330.8

(参考) 平成 18 年調査「薬物乱用対策に関する世論調査」

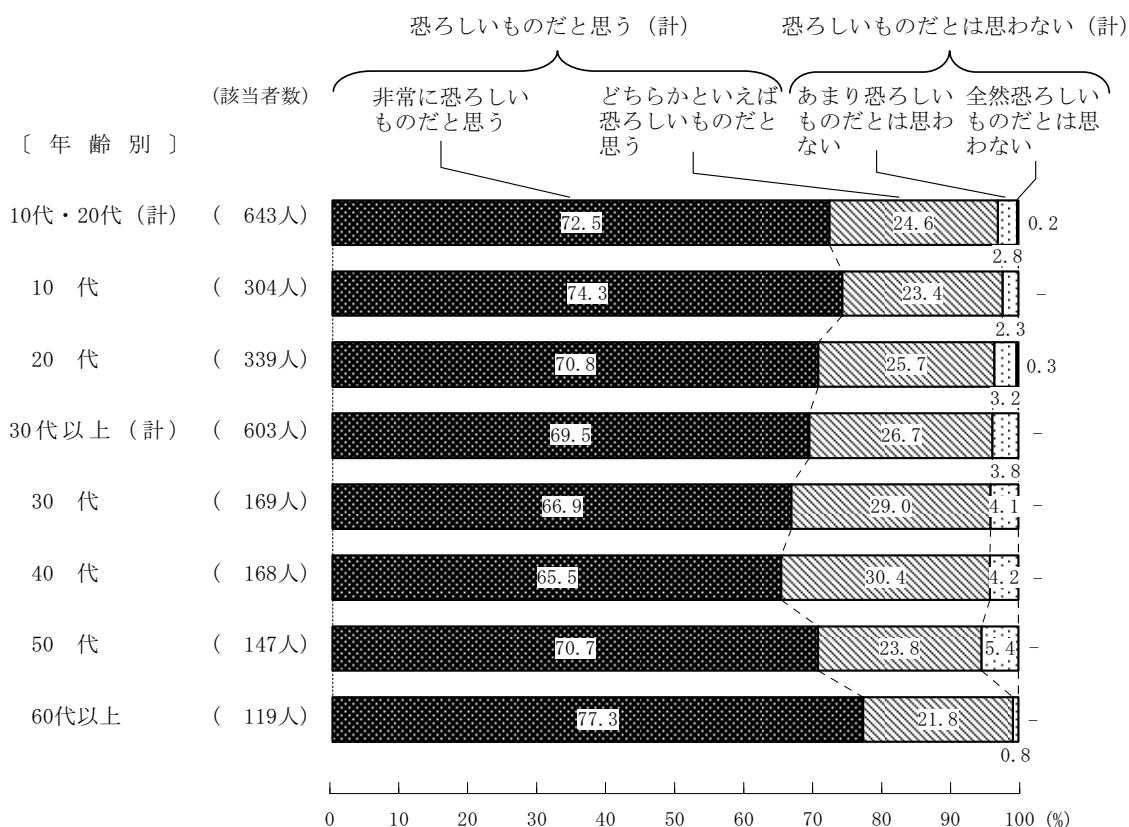
(%)

〔年齢〕	該当者数	ア) 中毒で心や体がむしばまれる	ウ) 1回でも使うとやめられなくなる	オ) 所持することは犯罪	エ) 犯罪に巻き込まれる	カ) 乱用者が殺人などの二次犯罪を起こす*	イ) 急性中毒で意識障害などをおこす恐れ*	その他	特に理由はない	わからない	計 (M. T.)
15～19歳	92	76.1	65.2	47.8	38.0	44.6	56.5	-	-	-	328.3
20歳以上 (小計)	1921	84.4	65.4	57.1	56.0	53.6	51.6	0.3	0.3	0.8	369.5
20～29歳	204	79.4	66.7	57.4	48.0	48.5	49.0	-	-	-	349.0
30～39歳	333	85.9	65.2	56.5	58.9	53.5	52.0	0.3	0.6	0.6	373.3
40～49歳	352	86.1	68.5	63.9	62.5	61.6	56.0	-	0.3	1.1	400.0
50～59歳	399	84.7	65.4	54.4	54.4	52.6	52.1	0.5	0.3	0.5	364.9
60～69歳	381	86.6	65.9	59.1	55.6	53.8	50.9	0.3	0.3	0.5	373.0
70歳以上	252	80.6	59.9	49.2	52.8	47.6	47.6	0.4	-	2.4	340.5

(6) MDMAに対する認識

【Q11 は、Q6で6をお選びの、MDMA（エクスタシー）を知っている方にお聞きします。】

Q11. あなたは、MDMA（エクスタシー）についてどう思いますか。次の中から1つだけお選びください。

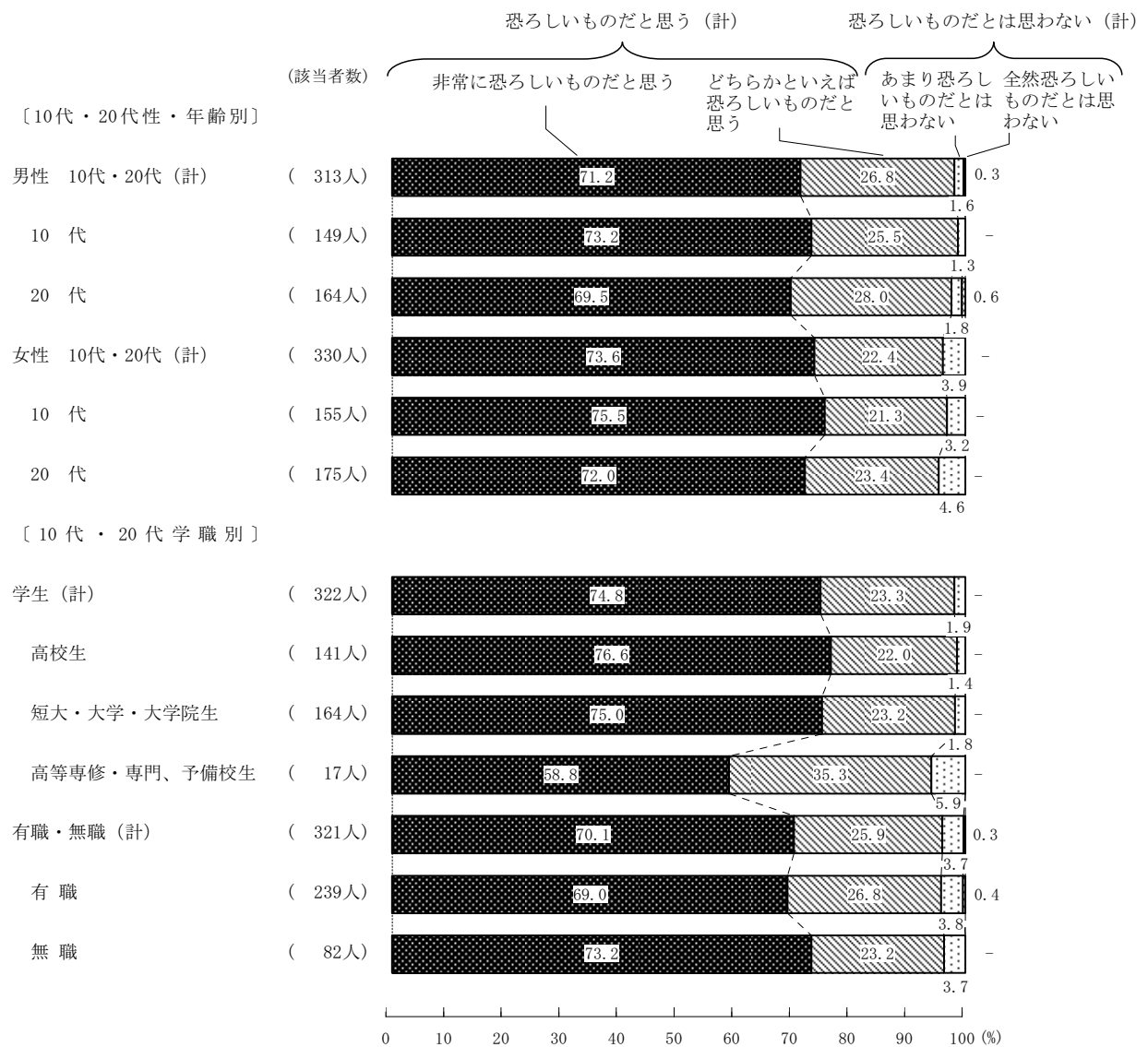


「MDMA（エクスタシー）」を知っていると答えた者に、MDMA（エクスタシー）についてどう思うか聞いたところ、10代、20代、30代以上（計）ともに「恐ろしいものだと思う（計）」（「非常に恐ろしいものだと思う」＋「どちらかといえば恐ろしいものだと思う」）（10代97.7%、20代96.5%、30代以上（計）96.2%）とする者の割合が多数を占めた。

10代・20代性・年齢別にみると、「非常に恐ろしいものだと思う」と答えた者の割合は男性20代（69.5%）で低くなっている。

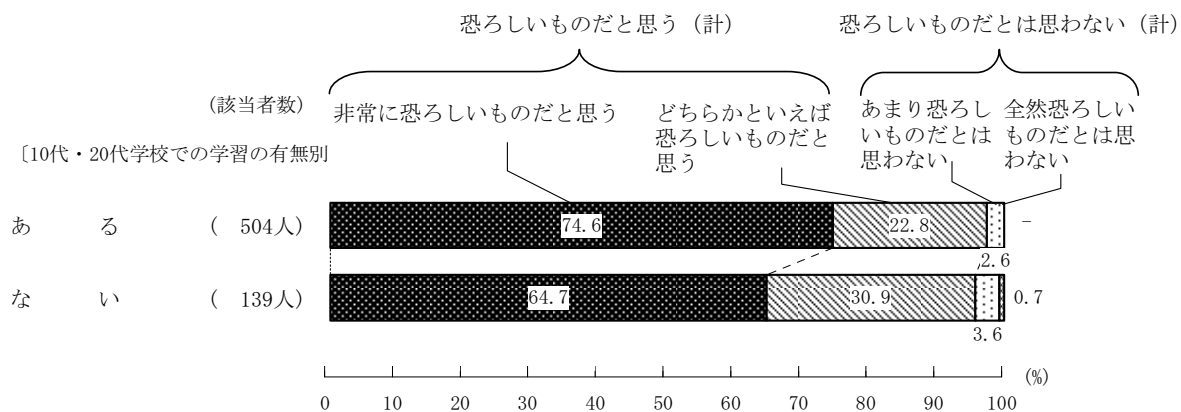
10代・20代学職別にみると、「非常に恐ろしいものだと思う」と答えた者の割合は有職（69.0%）で低くなっている。

図表 2-2-3-10 MDMAに対する認識



10代・20代学校での薬物乱用防止学習の有無別にみると、「非常に恐ろしいものだと思う」と答えた者の割合は、学習経験がある者（74.6%）の方が経験がない者（64.7%）より高くなっている。

図表 2-2-3-11 MDMAに対する認識



(参考) 平成 18 年調査「薬物乱用対策に関する世論調査」

	該当者数	恐ろしいものだと思う (小計)	ア) 非常に恐ろしいものだと思う	イ) どちらかといえば恐ろしいものだと思う	恐ろしいものとは思わない (小計)	ウ) あまり恐ろしいものとは思わない	エ) 全然恐ろしいものとは思わない	わからない
[年齢]								
15～19歳	35	91.4	77.1	14.3	2.9	2.9	-	5.7
20歳以上 (小計)	623	87.2	69.5	17.7	4.0	3.4	0.6	8.8
20～29歳	111	89.2	69.4	19.8	3.6	3.6	-	7.2
30～39歳	161	83.9	69.6	14.3	6.2	4.3	1.9	9.9
40～49歳	148	93.2	73.0	20.3	0.7	0.7	-	6.1
50～59歳	119	84.9	68.1	16.8	4.2	4.2	-	10.9
60～69歳	59	78.0	61.0	16.9	8.5	6.8	1.7	13.6
70歳以上	25	96.0	76.0	20.0	-	-	-	4.0

(7) MDMAを恐ろしいと思う理由

【Q12は、Q11で1～2をお選びの、MDMA（エクスタシー）を恐ろしいと思う方にお聞きします。】

Q12. あなたが、MDMA（エクスタシー）を恐ろしいと思う理由は何ですか。次の中からいくつでもお選びください。（複数選択可）

(%)

	n	中毒で心や体がむしばまれる	1回でも使うとやめられなくなる	急性中毒で死亡する恐れがある	使ったり、所持することは犯罪	犯罪に巻き込まれる	乱用者が殺人、窃盗、暴行などの二次犯罪を起こす	その他	特に理由はない	回答計
[年齢別]										
10代・20代（計）	(624人)	74.8	69.4	64.7	53.0	46.5	35.9	1.0	3.0	348.4
10代	(297人)	73.7	75.4	62.6	53.2	50.2	40.1	1.0	2.7	358.9
20代	(327人)	75.8	63.9	66.7	52.9	43.1	32.1	0.9	3.4	338.8
30代以上（計）	(580人)	74.1	59.7	71.4	56.0	51.0	42.6	1.4	1.7	357.9
30代	(162人)	79.0	58.0	68.5	51.9	42.6	34.0	1.2	1.9	337.0
40代	(161人)	70.2	58.4	72.0	54.0	49.1	37.3	1.9	2.5	345.3
50代	(139人)	71.2	60.4	71.2	59.0	57.6	49.6	0.7	1.4	371.2
60代以上	(118人)	76.3	62.7	74.6	61.0	57.6	53.4	1.7	0.8	388.1

「MDMA（エクスタシー）」を知っていると答え、MDMAを「恐ろしいものだと思う（計）」とする者に、その理由を聞いたところ、10代では「1回でも使うとやめられなくなる」（75.4%）、20代、30代以上（計）では「中毒で心や体がむしばまれる」（20代75.8%、30代以上（計）74.1%）を挙げた者の割合が最も高くなっている。「1回でも使うとやめられなくなる」は、10代（75.4%）、20代（63.9%）の若年層で高い。30代以上（計）では「急性中毒で死亡する恐れがある」（71.4%）を挙げた者の割合が他の年代に比べて高く、7割以上となっている。

10代・20代性・年齢別にみると、「1回でも使うとやめられなくなる」を挙げた者の割合は男性（65.5%）より女性（73.2%）で高く、女性10代（80.0%）では8割となっている。

10代・20代学職別にみると、「1回でも使うとやめられなくなる」を挙げた者の割合は高校生（78.4%）、短大・大学・大学院生（77.0%）で高く、8割近くとなっている。

図表 2-2-3-12 MDMAを恐ろしいと思う理由

(%)

n		中毒で心や体がむしばまれる	1回でも使うとやめられなくなる	急性中毒で死亡する恐れがある	使ったり、所持することは犯罪	犯罪に巻き込まれる	乱用者が殺人、窃盗、暴行などの二次犯罪を起こす	その他	特に理由はない	回答計	
〔10代・20代性・年齢別〕											
男性	10代・20代（計）	(307人)	73.3	65.5	61.9	49.5	45.9	35.2	1.6	3.3	336.2
	10代	(147人)	71.4	70.7	64.6	51.7	49.7	38.1	2.0	2.7	351.0
	20代	(160人)	75.0	60.6	59.4	47.5	42.5	32.5	1.3	3.8	322.5
女性	10代・20代（計）	(317人)	76.3	73.2	67.5	56.5	47.0	36.6	0.3	2.8	360.3
	10代	(150人)	76.0	80.0	60.7	54.7	50.7	42.0	-	2.7	366.7
	20代	(167人)	76.6	67.1	73.7	58.1	43.7	31.7	0.6	3.0	354.5
〔10代・20代学職別〕											
学 生	（ 計 ）	(316人)	77.2	77.8	63.9	53.8	53.2	41.5	1.3	2.5	371.2
	高校生	(139人)	77.0	78.4	66.2	53.2	53.2	45.3	0.7	2.2	376.3
	短大・大学・大学院生	(161人)	79.5	77.0	62.7	53.4	54.0	39.1	1.2	3.1	370.2
	高等専修・専門・予備校生	(16人)	56.3	81.3	56.3	62.5	43.8	31.3	6.3	-	337.5
有 職 ・ 無 職	（ 計 ）	(308人)	72.4	60.7	65.6	52.3	39.6	30.2	0.6	3.6	325.0
	有職	(229人)	72.5	60.3	64.2	50.2	41.0	30.6	0.9	3.9	323.6
	無職	(79人)	72.2	62.0	69.6	58.2	35.4	29.1	-	2.5	329.1

10代・20代学校での薬物乱用防止学習の有無別にみると、いずれの項目も学習経験のあるの方が回答率が高く、特に「中毒で心や体がむしばまれる」、「1回でも使うとやめられなくなる」、「犯罪に巻き込まれる」、「乱用者が殺人、窃盗、暴行などの二次犯罪を起こす」は約8～14ポイントの差がある。

図表 2-2-3-13 MDMAを恐ろしいと思う理由

(%)

n		中毒で心や体がむしばまれる	1回でも使うとやめられなくなる	急性中毒で死亡する恐れがある	使ったり、所持することは犯罪に巻き込まれる	犯罪に巻き込まれる	乱用者が殺人、窃盗、暴行などの二次犯罪を起こす	その他	特に理由はない	回答計	
〔10代・20代学校での学習の有無別〕											
あ	る	(491人)	76.6	71.9	65.0	54.0	49.5	37.9	1.0	2.9	358.7
な	い	(133人)	68.4	60.2	63.9	49.6	35.3	28.6	0.8	3.8	310.5

(参考) 平成 18 年調査「薬物乱用対策に関する世論調査」

(%)

	該当者数	ア) 中毒で心や体がむしばまれる	ウ) 1回でも使うとやめられなくなる	オ) 使ったり、所持することは犯罪に巻き込まれる	カ) 乱用者が殺人などの二次犯罪を起こす*	エ) 犯罪に巻き込まれる	イ) 急性中毒で死亡する恐れがある	その他	特に理由はない	わからない	計 (M. T.)
〔年齢〕											
15～19歳	32	75.0	75.0	56.3	46.9	53.1	56.3	-	-	6.3	368.8
20歳以上 (小計)	543	79.9	68.1	58.6	58.6	57.1	50.5	0.6	0.2	2.8	376.2
20～29歳	99	72.7	69.7	56.6	50.5	44.4	46.5	1.0	-	6.1	347.5
30～39歳	135	80.7	63.7	55.6	56.3	57.0	53.3	-	-	3.0	369.6
40～49歳	138	73.9	71.7	61.6	63.8	60.1	44.2	-	0.7	2.2	378.3
50～59歳	101	88.1	64.4	54.5	61.4	60.4	57.4	1.0	-	1.0	388.1
60～69歳	46	89.1	76.1	67.4	63.0	65.2	54.3	-	-	2.2	417.4
70歳以上	24	87.5	66.7	66.7	54.2	62.5	50.0	4.2	-	-	391.7